



材惣木材株式会社

代表取締役社長

鈴木

龍一郎氏

勤侯は富貴の母なり



時代変遷に合わせた事業形態

—ご創業についてお聞きます。

1690年知多半島寺本村で創業しまして、1700年頃には城下町のこの辺り（現在の中区錦1丁目堀川沿い）に店を構えたと証文に記載してあります。江戸元禄時代、忠臣蔵や生類憐れみの令の徳川綱吉のときの創業です。

1805年、中川区に貯木場と木挽小屋を建設しました。

昔は、国際展示場周辺は貯木場でしたので、白鳥が木曾ヒノキの集積地になりました。堀川沿いに材木問屋、中川運河沿いは木材の小売屋があったですね。

昔は木材で時計、船、航空機の一部も造っていましたから、木材の豊富なこの地区で製造業が発達したのでしょうか。

■プロフィール

- 元禄3年（1690）創業
- 材木屋 鈴木惣兵衛 知多郡寺本村 名古屋元材町 享保元年（1716）
- 江戸時代尾張藩の木材屋十人衆の一人として木曾ヒノキを中心に営業
- 文化2年（1805）
- 五代惣兵衛 本願寺名古屋別院建立木材納入用の貯木場木挽小屋を建設（現在の中川区）
- 大正2年（1913）
- 八代鈴木惣兵衛 名古屋商工議所の七代会頭に選任
- 昭和9年（1934）材惣木材株式会社設立
- 平成21年（2009）名古屋城本丸御殿復元工事に携わる
- 平成23年（2011）本社名古屋市中区錦一丁目（旧木挽町）に移転し、漢字を材惣から材惣に変更
- 平成29年（2017）グループ再編に伴い、材惣DMBホールディングスグループの一員となる



—明治時代になって仕事の内容が変わってきたそうですね。

弊社の危機のときです。尾張徳川の御用商人だったのが、徳川幕府がなくなって、仕えていたお殿様がなくなり商圏を失いました。明治では文明開化の時代になったので、インフラ資材、つまり電柱・枕木という基礎資材の供給がメインになってきました。それは昭和の中頃まで続きました。

それから電柱・枕木がコンクリートに変わってきたので、その仕事はグループ内の大日コンクリートという関係会社に移管されて行きました。

昭和の中・後期は木材問屋というポジションで、輸入丸太の原木や国産材の卸業になってきました。いまは問屋業の役割が減ってきて、住宅資材関連が業務の核になっています。例えば、木造住宅の建築木材をコンピュータのCAD・CAMでプレカット加工し住宅会社や工務店に納めたり、2×4工法パネルの生産など、小売に近い業務形態になってきました。

あとグループの大日本木材防腐では木材の防腐事業もやっています。電柱や枕木は腐らないように化学薬品を注入するのですが、その技術は住宅用の土台や外構木材等に利用されています。

基本は木材・建材が8割位ですが、木材・建材等の物流業、サッシなど、事業領域はM&Aなどで増えています。太陽光発電、不動産賃貸業なども手掛けていて、事業内容を時代に合わせて変化させてきました。

名古屋城本丸御殿の材料も調達しました。あと金シャチ横丁の宗春ゾーン建物の構造物もプレカットして納めました。—本丸御殿の材木はすごい高価なのでしょうね。

柱1本が物によりますが数百万円位します。

でも一般の木造住宅の並木材の柱は安価で、3m（10.5cm角）で2千円から3千円ですよ。張り合わせた集成材も増えてきています。昔は、家造りは大工さんの腕次第ということもありましたが、今はコンピュータで図面に合わせて正確にカットして出荷していますから安くて狂いが少なく、均質に良い家ができる時代になりました。

スポーツに打ち込んだ学生時代

—子どもの頃はどんな少年でしたか。

スポーツ好きでした。【巨人の星】とかスポ根世代ですから、学校が終わると校庭で草野球をやっていましたし、陸上や水泳も頑張りました。

—学生時代の思い出をお聞かせください。

一番の思い出は、高校は旭丘でしたが、陸上部で意外に頑張られて400m走を名北地区で3位、愛知県地区で6位になったことです。1600mリレーも旭丘は名北3位入賞でした。中学時代から短距離も長距離も早かったのですが、一番通用するのが400mだったのです。400m走は陸上で一番苦しいと言わ



れていて、1周走ると気絶して5分10分立てないほどです。

——最後の10m、15mで差が出ますね。

8、9割の力で走り最後に力を出し切るのですが、40秒くらいほぼ全力疾走すると酸欠になってくるのです。私のタイムは51か52秒だったと思います。そうやって頑張ったことが一番記憶に残っています。

水泳も中学時代は100mバタフライとか、苦しい種目ばかり(笑)。「根性戦だ」と言って気合を入れてやりました。——老舗企業の国際団体「エノキアン協会」について、特色と活動について教えてください。

エノキアン協会はフランスに本部があります。入会の条件は家業歴200年以上の健全経営のオーナー企業である事です。協会に申請し、審査に通ると入れます。歴史の短いアメリカの会社とかは会員にいないで、ヨーロッパと日本の会社が主要メンバーです。名古屋中法人会長の岡谷鋼機さんも入っておられて、ご紹介いただいて入りました。日本は9社入っています。海外はいろいろな企業が入っていて、昔の貴族の頃からの楽譜をやっていた会社、レオナルドダビンチが最後に住んでいたお城をもっている会社とかも面白いです。

年に1回総会があり、私は入って数年ですので、3回出席しました。総会、セミナー、会社見学、観光など3日間一緒に過ごしてサロンみたいな感じで、いろいろ話をしますし、日本人同士で情報交換もでき仲良くしています。岡谷さんが現在エノキアン協会の会長ですので日本会も年に1~2回開かれ、同族会社での経営のコツなど聞くことができます。

300年の秘伝みたいな経営理念はない

——引き継がれた経緯をお聞きます。何代目になられますか。

12代目です。「継いでほしい」とかは言われていませんでしたが、姉はいますが男は私一人ですから、いずれはなんとなく継ぐつもりでいました。大学は慶應義塾大学経済学部で、資本主義ではなく、社会思想史のゼミに在りまして労働問題など勉強していました(笑)。その頃、合板が輸入合板に負けて稼業があまり良くないときでしたが、「やるしかない」と継ぎました。

300年もやっていると安泰のように思われますが、山あり谷ありですが、お陰様でなんとか潰れずにやってこれました。——事業承継で大切にされているところをお聞かせください。

エノキアン協会のキーワードにKeepinng Traditions、Breaking Traditions(伝統を守る事は伝統を壊す事)とあります。時代の流れに、会社を変化適応していく事が重要だと思います。

またカリスマとかワンマン経営ですと跡を継ぐ人はやりにくいですし、伸びるときは伸びるけれどリスクと裏腹かなという気がしていますので、事業承継という視点ではそうならないほうがいいかなと思っています。

——経営理念は？

300年の秘伝みたいな経営理念はないです。

——先代からの教えはございますか。

唯一残っているのは、8代目が活躍したときの「勤儉は富

貴の母なり」です。真面目に勤めて俵約するのが豊かになるもとであると、苦しいとき俵約したみたいです。尾張徳川がなくなって、苦しんで、明治時代に枕木を扱いはじめたころです。

また松坂屋の伊藤次郎左衛門さんにお金をお借りして山を買い付けに行ったという記録があり、それ以来、鈴木家は伊藤家には頭を下げる伝統があり、8代目は、どんなときも伊藤次郎左衛門さんが来たら上座を譲ったそうです。

忙しさの中で多くの趣味

——社長の一日をお聞かせください。

日によって違いますが、6時頃に起きて、朝食は果物とヨーグルト、7時半から朝ドラを観ます。大同生命の創始者を描いた『あさが来た』を観始めたら勉強になります面白くて、それから観ています。うちも太陽生命の初代社長をやっていたらしいです。

それからジムでストレッチをやってサウナに入ってから会社に行きます。

いま会社が13社で、全国に30以上の事業所があり年に一度訪問するのもなかなか大変です。各社の月次報告会議でもかなり日程が埋まります。出張や得意先との会合、協力会も入ります。

根幹的なことは、経営者が直接動かなければいけません。例えば、材惣DMBホールディングスが大日本木材防腐をMBOで買い取りホールディング化するとか、グループの組織・目標をどうするか等色々できてきます。

また法人会、業界の会合、一般経済団体などの会合も少しずつ参加しても忙しいです。

——ご趣味・健康法などはいかがですか。

テレビを観るのが好きです。歴史系の番組はよく観ます。またスポーツ観戦が好きで、テニスやゴルフのメジャートーナメント、サッカー・野球・ラグビーのワールドカップ等は観ています。

週1回はテニスを続けています。ゴルフも週1回はやりたいと予約をしましても、雨や出張などで行けないときもしばしばあります。

下手な横好きで、ヤマハに月に3回ほどサックスを習いに行ってます。全然巧くならないのですが、子どもの結婚式のときや会社の会などで披露しました。そのときは『My Favorite Things』や『Close to You』をグループ演奏しました。

変わったことも好きでマイケルジャクソンダンス、ムーンウォーク等の練習をしています(笑)。マニアの先生がおられて月に1回です。

村上春樹の本が好きで、出版されるとすぐに40年間にわたり読んでます。ハルキ会という読書会が密かにありまして、それは2カ月に1回です。

——多忙なか、幅広いご趣味を楽しんでおられて素晴らしいですね。ハードなことがお好きなのでしょう。

名古屋中法人会の副会長としてご尽力いただいています。これからもよろしくお願いたします。



取材日時/令和2年3月3日(火) 14:00~15:30 取材場所/材惣HD・材惣木材本社 中区錦1-1-2 ききて/森田文二・岩田加津子・櫻井慎吾・平木聖三・鶴岡一美